

令和5年4月21日

家庭学習の手引き 活用にあたって

松本市立山辺小学校

小学校の学習は、将来子どもたちが社会人として自立するための基礎となるものです。学校の授業で学んだことを活かして、さらに力を高めていくためには、家庭学習の習慣化が不可欠となります。家庭学習を毎日続けることで、学習習慣が身につき、集中力や忍耐力、じっくり物事を考える力がつき、困難なことに出あってもくじけない力にもつながっていきます。“家庭学習の定着”は、子どもたちの主体性や自律性を伸ばし、目標をもって人生を心豊かに生きる力となって、将来への大きな財産となるのです。



そこで、山辺小学校では、「家庭学習の手引き」を作成し、活用しております。本校の子どもたちの様子を踏まえ、子どもたちが自分で取り組めることを目指して家庭学習の進め方をまとめたものです。子どもたち向けに「学習のポイント」を、保護者の皆様向けに「家庭指導のポイント」を示し、家庭学習の指標となるように編集してあります。

「家庭学習の手引き」は学習する場所に貼るなどし、見ながら進められるようにしてください。始めのうち（慣れるまで）はこの手引きに沿ってできているか見守って下さるよう、ぜひご協力をお願いいたします。

今年度も、昨年度に引き続き、全校一斉に『家庭学習の初めに、音読10分間』に取り組むたいと考えています。子どもたちが音読に取り組む時間にご在宅でない保護者の方もいらっしゃると思いますが、帰宅後に短時間でよいので、音読をきいて確認していただき、ぜひ上達を褒めてあげてください。



音読の仕方

山辺小学校



1. はじめに

体が成長期にあるときは、特に栄養や運動など、毎日の生活に注意することが大切です。脳の場合も、全く同じです。脳にとって栄養や運動にあたるのが、音読です。音読をしているときの脳はフル回転ですが、特に前頭前野が活発に働くことが実証されています。

2. 音読の効果について

脳の中でも一番大事な場所である前頭前野（記憶や学習、感情までもコントロールします）が働くことで、次の効果が期待できます。

- ①集中力アップ
- ②注意力アップ
- ③頭の回転が速くなる
- ④記憶力が高まる
- ⑤やる気がわいてくる
- ⑥語彙力（ごいりょく）が高まる
- ⑦テキパキ話せるようになる

記憶力テストでも、右のグラフのような変化が見られます。これは、音読によって前頭前野がウォーミングアップして活発に働いたからだと考えられます。したがって、宿題をする際は、初めに行うことが、学力アップにつながります。



何もしないで記憶できる単語の数と、2分間の音読トレーニングをしたあとに記憶できる単語の数を比べてみました。音読をしたあとのほうが2語近く多く覚えられました。

3. 音読内容や工夫について

- ①10分間、続けて音読します。（1年生は、できる範囲で回数多く読みます。）
- ②教科書で指定されていれば、その教材を読みます。
- ③自由な音読をする場合は、

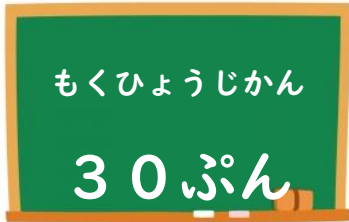
- ・国語の教科書に載っているお話（前年度のものでもいいです。）
 - ・その他の教科の教科書（社会の歴史など）
 - ・図書（図書館の本、家にある本）
 - ・新聞の記事
- （高学年は、子ども向けの欄をぜひチャレンジしてください。）
- ・市販されている音読ドリル

・上の4つを10分間の中で複数読んでもいいです。

- ④速音読もおすすめです。⇒脳の働きが、より活発になります。

速音読（できるだけ正確に速く読む。声は小さくてもいいです。）を取り入れても楽しいと思います。ストップウォッチを使って決めたお話のタイムトライアルをするとゲーム感覚でやる気がアップします。

R5 年度保存 山辺小学校おうちでのべんきょうのしかた(1・2年生)



かていがくしゅうのめあて

「**がくしゅうするしゅうかんをみにつけよう!**」

【保護者の皆様へ】

まずは習慣作りから。同じ時間、同じ場所で学習が始められるようにしていきましょう。

☆ はじめるまえのじゅんびをしよう!

(1) おうちのひとにおたよりをわたします。
しゅくだいにつかうものをだします。

(2) テレビやゲームをけします。

【保護者の皆様へ】

*低学年の学習環境づくりは、保護者の方の協力が必要です。お子さんまかせにせず、学習環境を整える声かけなどお願いします。そして、お子さんが学習を始めたことを見てあげましょう。

☆ さあ、はじめよう!

(3) のうのトレーニング! 「**おんどく10分**」をします。
しゅうちゅうりょく、きおくりょくアップだよ!

【保護者の皆様へ】

*低学年は、記憶力の黄金期です。音読を毎日10分間継続していくことで、記憶力が高まり、学習の素性が培われます。成長を一番感じられるのもこの時期です。親子で楽しみながら音読をお願いします。

*低学年で身につけたい学習スキルは①丁寧さ ②文を読んで考える ③基礎学力の定着です。そこで、是非ともこの3つのポイントの確認や答え合わせのご協力をお願いします。

*この時期の子どもたちは、ほめられることで意欲がまします。答え合わせや確認で、叱られてしまうと、泣いたり怒ったりしてしまいがちです。できているところをほめて、自信を持たせましょう。お子さんが助けを求めてきたら、一緒に文を読んで、考えさせてください。文を全く読まないで取り組んでいることが多いです。

*算数の答え合わせは、“間違えてもやればいい”というお子さんの甘えを断ち切り、やりなおしをすることで、学力の定着が望めます。

*国語の〇つけは、していただくなくても結構ですが、左記のポイントができていないか確認をお願いします。

(4)

こくご

- ① おてほんをよくみて、かこう。
- ② ため・はらい・はねにきをつけて、ていねいにれんしゅうしておぼえよう。

さんすう

- ① 正しいすうじをかこう。
- ② もんだいをよくよんで、かんがえよう。
- ③ たしかめながら、けいさんしよう。
- ④ おうちのひとに、こたえあわせをしてもらって、やりなおしをしよう。



につき

- ① いつ・だれが・どこで・なにをした をいれてかこう。
 - ② ならったかんじをつかって、かこう。
- ☆みたこと・きいたこと・おもったこともかけるといいですね。

☆ べんきょうがおわったら

(5) おうちのひとに、しゅくだいのなかみをかくにんしてもらいます。
がんばったことをほめてもらいましょう。

【保護者の皆様へ】

*学習内容だけでなく、学習態度、習慣についても、できたこと頑張ったことをおおいにほめて認めてあげることで、自己肯定感が高まります。

(6) れんらくちょうを見て、あしたのがっこうのじゅんびをします。

やってみよう！べんきょうができるようになるおんどく

1・2年

おんどくは、みんなのあたまにとっての、えいようやうんどくです。

おんどくをすると、こんないいことがあるよ。

① やることに
しゅうちゅうできるよ！

② いちどに、いくつものこと
ができるようになるよ！

③ べんきょうしたことが、
すぐにわかるようになるよ！

④ べんきょうしたことをわす
れずにおぼえていられるよ！

⑤ やるきがでるよ！

⑥ たくさんのことばをして、
つかえるようになるよ！

⑦ スラスラはなせるようになるよ！

こんなふうにとりくもう しゅくだいのはじめの10ぶんかん
おんどくを します

★おうちのひとだけでなく、
ともだちにきいてもら
うのもいいね。

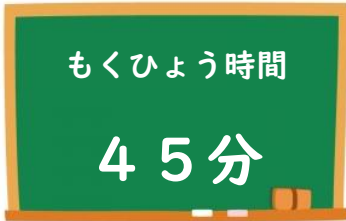
1ねんせい、できるだけ かいすうおおくよみましょう

① きょうかし
よで、べんき
ょうしてい
るおはなし
をよもう。

② じゆうなおんどくをするときは・・・
・きょうかしよのおはなし（2年生は1年生の
おはなしでもいいです。）
・としよかんやいえにあるほん
・しんぶんの、こどもむけらんにチャレンジで
きたら、すごい！
・おみせでかえるおんどくドリル など

③ そくおんどくもオススメ。
できるだけせいかくにはやくよ
む。ストップウォッチをつかっ
て、きめたおはなしのタイムき
ょうそうをするのもゲームみた
いでたのしいよ。

R5年度保存 山辺小学校 家庭学習の手引き(3・4年生)



家庭学習のめあて

「自分から進んで学習する力をつけよう！」

【保護者の皆様へ】

中学年は、身に付けた学習習慣をもとに、自主性を伸ばしていきたい時期です。

☆ 始める前のじゅんびをしよう！

(1) お家の人におたよりをわたします。
宿題に使う物を出します。

(2) テレビやゲームを消します。
つくえの上をかたづけます。

【保護者の皆様へ】

* 中学年の学習環境づくりは、自分からできるようにしたいものです。お子さんが学習を始めるのを見届けてあげてください。学習場所を、お家の人から見える場所にするとう効果的です。

☆ さあ、始めよう！

(3) 脳のトレーニング！「音読10分」をします。

- (4) **漢字** ①一画一画でいねいに書こう。
②ただ書くだけではなく、先生や友だちから教えてもらった工夫したやり方にもちようせんしてみよう。
③ことばや文しょうでれんしゅうしよう。
- 算数** ①まず問題をよく読んで、自分の力で考えよう。
②正かくに答え合わせをしよう。
③まちがえた問題をもう一度やり直そう。
- 自主学习** もっと勉強したいことに取り組もう
①きょうみのあることをさらに調べてみよう。
②苦手なことをふく習しよう。
- 日記** ①思ったこと、考えたことをくわしく書こう。
②習った漢字を使って書こう。

【保護者の皆様へ】

* 音読を毎日10分間継続していくことで、記憶力が高まり、学習の素地が培われます。先に音読を済ませていても、短時間聴いていただき上達をほめてあげてください。
* 漢字練習など、自分なりに工夫して学習が進められるように、学校で紹介していきます。
* 教科が増え、学習内容も難しくなります。わからないところは、一緒に考えたり調べ学習をしたりして、家庭学習でフォローしておく、自信をつけ、やる気を伸ばすことができます。
* 高学年に向けて、答え合わせを少しずつ自分でするようにしていきます。子どもに答え合わせをさせる場合は、正確にできるようになるまで、確認してあげてください。
* 学習範囲も広がり興味も広がります。意味調べや問題作り、地図作りなど自主学习にも取り組み、自分なりの学び方を見つけ、自立心を育てましょう。

☆ 勉強が終わったら

(5) お家の人に、宿題の中身をかくにんしてもらいます。
がんばったことをほめてもらいましょう。

(6) れんらくちょうを見て、明日の学校のじゅんびをします。

【保護者の皆様へ】

* 自分が頑張ったことを聞いてもらい、認めてもらうことで自己肯定感も高まり、「もっと頑張ろう」という意欲の向上につながります。

やってみよう！学力がのびる音読

3・4年

音読は、わたしたちの脳^{のう}にとっての、栄養^{えいよう}や運動です。

学習のはじめに音読をすると、こんないいことがあるよ。

① 集中力アップ！

② 注意力アップ！

③ 頭の回転
スピードアップ！

④ ^{きおくりよく}記憶力アップ！

⑤ やる気アップ！

⑥ 言葉の力アップ！

⑦ テキパキ話せるようになるよ！

こんなふうに取り組もう

★お家の人だけでなく、
友だちに聞いてもらう
のもいいね。

宿題のはじめの
音読を 10分間
します

① 音読の宿題が出ている
時は宿題のところを読
みます。場面のように、くふ
うして読もう。

② 自由な音読をする場合は・・・
・教科書のお話（前の学年のお話もOK）
・図書館でかりた本・家にある本
・新聞の子どもむけの記事を読めたらすごい
・お店で買える音読ドリル など

③ ^{そくおんどく}速音読もオススメ。
できるだけせいかくにはや
く読む。ストップウォッチを
使って、決めたお話のタイム
きょうそうをするのもゲー
ムみたいで楽しいよ。



家庭学習のめあて

「自分の学習の仕方で、自分の力を伸ばそう」

【保護者の皆様へ】

高学年は自ら課題を見つけ、今までの学習を活かしながら解決する力をつけていきましょう。

☆ 始める前の準備をしよう！

(1)お家の人におたよりをわたします。
宿題に使う物を出します。

(2)テレビやゲーム、スマホなどは消します。
机の上を片付けます。

【保護者の皆様へ】

*高学年では、自分で学習環境を作ることが大切です。興味も広がり、慣れも出て、中学年でできていたことができなくなることもあります。確実な定着のために、見守りをお願いします。

☆ さあ、始めよう！

(3)脳のトレーニング！「音読10分」をします。
集中力、記憶力がアップ！脳を活性化させよう。



【保護者の皆様へ】

*お子さんが音読を先に済ませても、時々は聴いていただき、上達を認め、声掛けをお願いします。

*5・6学年では、与えられた課題を受け身でこなすのではなく、自分の学習の仕方を身に付け、自分で力を伸ばすことを目標にしています。学習量・内容ともに、目当てを満たす取り組みになっているか、確認をお願いします。
*自分で答え合わせをして、間違いを直す所までできるようにします。自分の弱点を知り、自主学習に活かします。定着には継続が必要です。お子さんに任せきりでなく、丸付け・直しがきちんとできたか、確認をお願いします。

(4)漢字 どのように練習したら覚えられるか、やり方を工夫し、効率よく練習し力をつけよう。(1ページの中に確認テストを入れる・言葉の意味を調べる 等)

算数 ①まず自分の力で考えよう。そして正確に答え合わせをしよう。
②間違えた所は、答えを写さずチェックだけして、もう一度やり直そう。

③やり直したら、もう一度答え合わせをして、確認しよう。

自主学習 さらに自分の力を伸ばす学習に取り組もう
宿題を終えて、「学年の目標時間に満たない・もっと復習をしたい・もっと知りたい・調べたい」というときには、積極的に自主学習に取り組もう。

・間違えた問題 ・心配な学習 ・まとめておきたい学習
・興味のあることについての調べ学習 ・読書 等

日記 どこかに出かけたり、特別なことをしたりしていなくても、自分が思ったり考えたりしたことが伝わるように書こう。(学校での出来事・授業の感想もいいですね)

(5) お家の人に、宿題の中身を確認してもらいます。
勉強で困ったことがあれば、お家の人や先生に相談します。
がんばったことをほめてもらいましょう。

【保護者の皆様へ】

*学習内容も難しくなり、不安を感じることも出てきます。お子さんの声に耳を傾け、見守り、頑張っていることをほめてあげましょう。

(6) 連絡帳を見て、明日の学校の準備をします。

やってみよう！学力がのびる音読

5・6年

音読は、わたしたちの脳にとっての、栄養や運動です。

学習のはじめに音読をすると、こんないいことがあるよ。

① 集中力アップ！

② 注意力アップ！

③ 頭の回転の

スピードアップ！

④ 記憶力アップ！

⑤ やる気アップ！

⑥ 語彙力アップ！

⑦ テキパキ話せるようになるよ！

こんな風に取り組もう

★お家の人だけでなく、
友だちに聞いてもらう
のもいいね。

宿題のはじめの
音読を 10分間
します

① 教科書の教材が指定されていれば、その教材を読みます。気持ちが伝わるように、表現豊かに読もう。

② 自由な音読をする場合は・・・
・国語の教科書のお話（前の学年のお話も可）
・図書（図書館の本・家にある本）
・新聞の記事（子ども向け欄にぜひチャレンジしてみよう！）
・市販されている音読ドリル など

③ 速音読もオススメ。
できるだけ正確に速く読む。ストップウォッチを使って、決めたお話のタイムトライアルをするのもゲーム感覚で楽しいよ。